



| | |
|---|---|
| 東京部会 (第 38 回) | |
| 日 時: | 2011 年 5 月 12 日 (木) 19:00-21:30 |
| 場 所: | 日本大学経済学部 7 号館 13 階会議室 3 |
| 参加者: | 篠原 (同志社大)、新井 (小石川中等教育)、高橋 (桜修館中等教育)、山崎 (北海道豊富高: 筑波大)、横山 (本郷中高)、鈴木 (日本経済教育センター)、榊原 (東証)、石山 (東証)、中沖 (清水書院)、神尾 (第一学習社) 加藤 (日大) [順不同] |
| <p>【内容要旨】</p> <p>1. 横山先生より、「囚人のジレンマ じゃんけんゲーム」の実践報告があった (配布物は、レジュメ、生徒の振り返りシートおよび東書教科書の該当箇所コピー)。まず、本郷中学高等学校の生徒の特徴などを説明され、2011年2月22日 (火) 中学3年公民に横山先生が実施された「じゃんけんゲーム」の授業結果をDVDを用いて報告された。単元は「冷戦と新しい戦争」で、米ソの核軍拡がなぜ起こったのかを実感させるために、生徒にはグーパーのみのじゃんけんと利得表を説明して、2人1組で20回のじゃんけんをさせるというものであった。この囚人のディレンマじゃんけんは、宮尾先生が国際大学で実施したものをもとにして作成したものである。報告では、授業で使用した振り返りシートから見る、生徒の考察結果も紹介された。その上で、生徒は、構造を理解しているようだという報告がされた。討論では、利得表の数値を共倒れになるような数値例にしたらかどうかという提言や、このゲームを使う場面設定を拡張するにはどうしたらよいか、生徒の評価方法はどうかなど、活発な質疑が行われた。なお宮尾先生の実践例は以下を参照されたい。</p> <p>http://miyao-blog.blog.so-net.ne.jp/2009-11-29</p> <p>2. 加藤より、トヨタ財団2011年度研究助成プログラム申請案が配布され、申請内容についてディスカッションした。翌日が締め切りのため、修正は加藤一任で提出することとした。</p> <p>3. 新井先生より、配布されたメモに基づいて、8月の「先生のための経済教室」の内容と後援依頼の確認があった。また、新井先生が作成されたちらし (「先生のための夏休み経済教室 in ○○」参加の勧め) も配布され、各地で新井先生が実施されている広報活動についても紹介された。石山氏から東証のチラシが配布され、内容が確認された。平成24年度版の教科書が使用できるかどうか微妙なタイミングであり、記述内容の修正が必要と判断。メール稟議することになった。</p> <p>4. 篠原先生から、札幌開成高校川瀬雅之先生が作成された資料にもとづき、札幌で開催されるワークショップの概要について説明があった。</p> <p style="text-align: right;">(文責: 加藤一誠)</p> | |
| <p>次回開催予定: 6月23日 (木) 19:00~21:00。</p> <p>議題: 1. 先生のための「夏休み経済教室」の打ち合わせ (全体)。 2. 上記に関して、歴史分野にかかわる質問と回答の検討。 3. 入試問題プロジェクト報告。</p> <p>場所は未定。</p> | |